

## あれた台地に水を引くまでは

志布志の海を見下ろす野井倉台地。ここは、川よりも土地が高いため、水が流れてこない。雨水をたよりにするしかなかった人々の生活は、とても苦しいものだった。これをすくうには、台地に水を引き、田を作るしかない。これまで何度も水を引く計画は立てられたのだが、工事はとてもむずかしく、だれも成功した者はいなかった。

このあれた台地に、野井倉甚兵衛というわか者が住んでいた。もともと甚兵衛の家の田は、低い場所があり、水が流れてくるので、いくらか楽なくらしができていた。けれど、甚兵衛は、人々が苦しい生活を送っているのをだまっで見ていることができなかった。甚兵衛はずっと考えていた。ずっと——。そして、ついに、決心した。

「だれにもできなかったことだ。それでもやるしかない。」  
甚兵衛、十七さいのことだった。

甚兵衛は三年かけて、水を引く計画を作り上げた。それは、台地の下を流れる川をずっとさかのぼって、台地よりも高いところから水を取り入れるというものだった。今のような機

械はなく、工事を手作業で進めなければならぬ時代だ。かたい地面を十数キロもほつていくには、少しでも多くの仲間が必要だった。

しかし、まだわかい甚兵衛のゆめのような話は、だれにも相手にされなかった。甚兵衛は、その熱い思いを、毎日、村の人たちに話して回った。そして、ようやく七人の仲間を集めた。ところが、甚兵衛の計画があまかったことが分かってきた。いざ工事を始めようとするところ、水の取り入れ口が予想したよりも低く、そこからでは水は流れてはこない。水を取り入れるためには、もっともつと山おくから水を引いてこなければならなくなったのだ。そうすると、かたい岩をくりぬきながら、トンネルをいくつもほらなくてはならない。当然、工事にかか

51さい



どんな苦勞もともに乗りこえてきた心のささえ(馬場藤吉)をなくす。

野井倉に

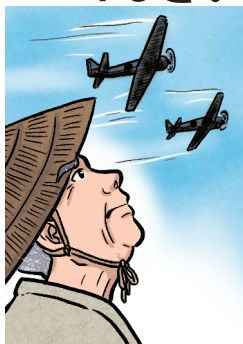
64さい



工事をじやまする人のせいで、悪いことをしていかないのにけい察につかまる。

水を引くまでは

70さい



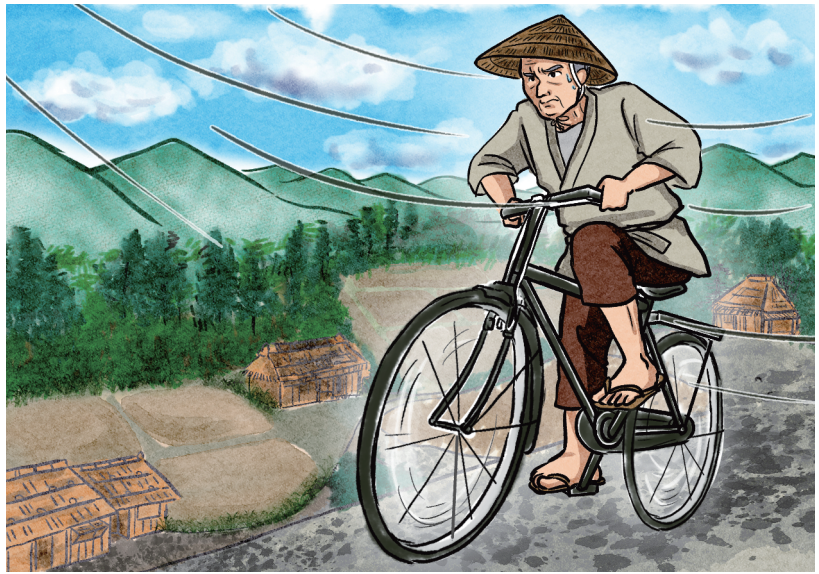
国が協力してくれるようになるが、戦争が始まり、田んぼを作る予定地を取り上げられる。

死んでも死にきれん

73さい



戦争が終わって、日本をせんりしようした人々が、工事をやめる命令を出した。



「バッチヨ笠」とは、日差しや雨をふせぐために、当時の人々がかぶっていたものだ。そんなバッチヨ笠を愛用した甚兵衛は、少しも自分をよく見せようとするところのない、気さくな人がらだった。

るお金は、思っていた金額の何倍にもなる。

「甚兵衛、やっぱり水を引くなんて、無理だったんだよ。」

一人、また一人と、仲間はずれは甚兵衛のもとを去っていった。甚兵衛は、がっくりとかたを落とした。

あんなにがんばって作った計画がつぶれてしまった。「やっぱり無理だったんだ。」もう、うつむいた顔を上げる力さえ、甚兵衛にはなくなっていた。

どれくらいの時が流れただろうか。すっかりあきらめてしまった甚兵衛に、お母さんが静かに話しかけた。

「甚兵衛、大変なことは、初めから分かっていたじゃないか。」

本当にあきらめてしまつて——甚兵衛、それでいいのかい。」

お母さんの言葉を聞いた甚兵衛は、だまつてじつと考えた。そして、立ち上がると、あらためて台地を見わたした。その目は今までよりも、ずっと力強くかがやいていた。

甚兵衛は、お気に入りのバッチヨ笠をかぶって、自転車で村中を走り回った。もう一度仲間を集め、組合を作り、県や国に工事の大



通水式で小船に乗ってトンネルからあらわれる甚兵衛。この甚兵衛のすがたを人々は心待ちにしていた。

切さをうったえ続けたのだ。村には、雨の日も風の日も、あせ水流して自転車をこぐバツチョ笠の甚兵衛のすがたがあった。

それから、甚兵衛には、次々とかべが立ちはだかった。

けれど甚兵衛は、もうどんなことがあっても決して負けなかった。

昭和二十四年（一九四九年）六月五日、「放て。」の声とともに、

水門が開かれ、川の水がゴウゴウとトンネルに流れ始めた。ついに、あれた台地に水が引かれるときがきたのだ。たくさんの人々が集まり見守る中、いきおいよく流れ出る水路のトンネルから小船に乗った甚兵衛があらわれた。と同時に、「ばんざい、ばんざい。」というよろこびの大かん声があがった。このとき、甚兵衛は、七十七さい。その晴れ晴れとした顔の上には、この六十年もの間、甚兵衛とともに工事を引っぱってきたバツチョ笠がかがやいていた。

（作 鹿児島県小学校道徳資料研究会／絵 イラストメーカーズ・futaba）

1 お母さんの言葉を聞いた甚兵衛は、どんなことを考えただろう。

2 自分でやろうと決めたことをやりとげることについて、どんなことを考えたかな。